

とめNNだより

令和4年6月発行
第28号

「とめNNだより」は、農業農村整備部(通称NN部)の広報広聴活動の一環として、登米管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせする目的で、年4回発行を予定しております。掲載内容についてお問い合わせ等ありましたら、管理調整班までご連絡ください。

【東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部広報広聴委員会】

■「大清水地区(東和町錦織地内)」のほ場において無人田植機の実演会が開催されました

令和4年5月23日に(株)五十嵐商会主催のもと、大清水地区(東和町錦織地内)のほ場(耕作者の松野秀郎氏所有)で無人田植機の実演会が開催されました。実演会には、(株)五十嵐商会をはじめ、クボタアグリサービス(株)、登米市内の農業者、登米市東和町土地改良区職員、登米地域事務所農業農村整備部及び登米農業改良普及センター職員の約30名が参加しました。

無人田植機とは、GPSに位置情報を記憶させリモコン操作により、無人で自動的に田植えをすることができる機械のことです。人の運転を伴わないことにより、人件費の削減や田植機の操作に慣れていない方でも「精度」や「能率」をキープできるなどのメリットがあります。

実演会を見学した農業者からは、「実際に見学して、この無人田植機が田んぼの内側だけではなく、あぜぎわまで植え付けしていることに驚いた」、「間近で農業のICT技術を見学できたので、とても有意義だった」などの声がありました。

今回の実演会を通して、農業者は無人田植機による作業の効率化などのメリットについて、理解を深めた様子でした。



▲無人田植機による自動運転の様子



▲実演会の様子(1)



▲実演会の様子(2)



▲無人田植機へ苗を補充している様子

■「登米市沢田集落と石巻専修大学の意見交換会」が開催されました

令和4年6月7日に登米市津山町の沢田集落で意見交換会が開催されました。

沢田集落では、とうもろこし「味来」の栽培を行っており、石巻専修大学3年生と4年生、大学院生の計17名が地元農家ととうもろこしを活用した「マーケティング」について各班のテーマごとに意見交換を行いました。

学生は、とうもろこしの「ひげ」で作るひげ茶の開発や、SNSなどを活用した味来のブランド価値のアップ等をテーマに質問をし、沢田集落の阿部代表は、学生の質問に農家目線で答えながら、沢田集落やとうもろこしの現状、問題などに触れ、棚田で農業をすることの難しさについて話をされました。

今回の意見交換会は、「農山漁村集落体制づくり支援事業」（事業主体：宮城県農政部農山漁村なりわい課）の一環で開催されたものですが、今後も沢田集落と石巻専修大学との交流は続いていく予定ですので、引き続き発信していきたいと思っております。



▲意見交換会の様子(1)



▲意見交換会の様子(2)

■「令和4年度みやぎ農業農村整備地域懇談会（登米管内）」が行われました

令和4年5月25日に登米合同庁舎にて、「登米市」「関係土地改良区」「みやぎ登米農業協同組合」「宮城県土地改良事業団体連合会」「みやぎ農業振興公社」「宮城県農政部」「登米地域事務所」出席のもと、令和4年度みやぎ農業農村整備地域懇談会（登米管内）が開催されました。

本懇談会は、宮城県の農業・農村の振興に資するため、市町村、農業協同組合、土地改良区などから、現場の実状や地域ニーズなどについて情報提供いただくと共に意見交換を実施し、今後の施策展開の参考とする目的から毎年実施しているものです。

県からは、令和4年度農村振興局関係予算などの概要及び令和4年度の主な新規・重点事項として農地整備の分野、農地防災分野の説明に加えて、宮城県の農業農村整備の情勢について、重点推進プロジェクトとして今年度重点的に取り組んでいく施策内容である「儲ける農業」「活力ある農村」「強靱な農業・農村」が設定されたと情報提供がありました。

そのほか宮城県土地改良事業団体連合会、みやぎ農業振興公社から「土地改良法一部改正に伴う制度見直しのポイント」「農地中間管理事業の取組状況」などの情報提供もありました。その後の意見交換では、国営造成施設の災害対応や農業用水利施設の長寿命化計画などについて、関係土地改良区及び登米市からの意見要望に対して関係部署よりそれぞれ回答を行いました。



▲県からの情報提供の様子



▲懇談会の様子

■「内ノ目地区(東和町錦織地内)」におけるレンコン収穫を行いました

令和4年3月23日に登米市東和町錦織地内で「内ノ目地区レンコン収穫作業」を行いました。今回収穫したレンコンは、農地整備事業新規採択要望地区である「内ノ目地区」において、高収益作物の選定に当たり試験的に地元関係者が作付けしたものです。去年の5月に作付けしてから、約1年間育てていたこともあり比較的大きなレンコンを栽培することができました。収穫には、内ノ目地区農地整備事業推進委員長をはじめ、登米市東和町土地改良区職員、登米農業改良普及センター及び登米地域事務所農業農村整備部職員の約10名が参加しました。

当日のレンコンほ場は、表面が凍結しており、さらに土が粘土質で硬く、収穫することは容易ではありませんでしたが、参加者が一体となり約2時間かけて収穫作業を行いました。

今後も、今回のような試験的栽培、収穫を続けていき、いずれは、商品として出荷できるよう研究を重ねていくとのことです。



▲レンコン収穫の様子(1)



▲レンコン収穫の様子(2)

■「登米管内農業用排水施設安全対策委員会」を開催しました

令和4年4月14日に登米合同庁舎で、登米管内の農業用排水施設での水難事故を未然に防止することを目的として、登米市関係職員、管内土地改良区職員及び登米地域事務所当部職員を構成員とする「登米管内農業用排水施設安全対策委員会」を開催しました。

令和4年度の事業計画として、4月に栗原市で起きた小学1年生の児童のため池転落事故を踏まえ、ため池や農業用排水路について緊急安全点検などの実施や市民への注意喚起として、ラジオ放送や登米市の防災無線による啓発、水難事故防止ポスターを作成し、登米市教育委員会を通じて管内小・中学校へ配布、掲示するなどに取り組んでいくこととしました。



▲委員会の様子



▲水難事故防止ポスター



宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部 広報広聴委員会 (編集:管理調整班)

～復興へ 頑張ろう! みやぎ～



〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼 150-5

Tel : 0220-22-5169 Fax : 0220-22-6015

E-mail : et-tmnbkt@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-ns/>

こちらからも
アクセス出来ます!!

